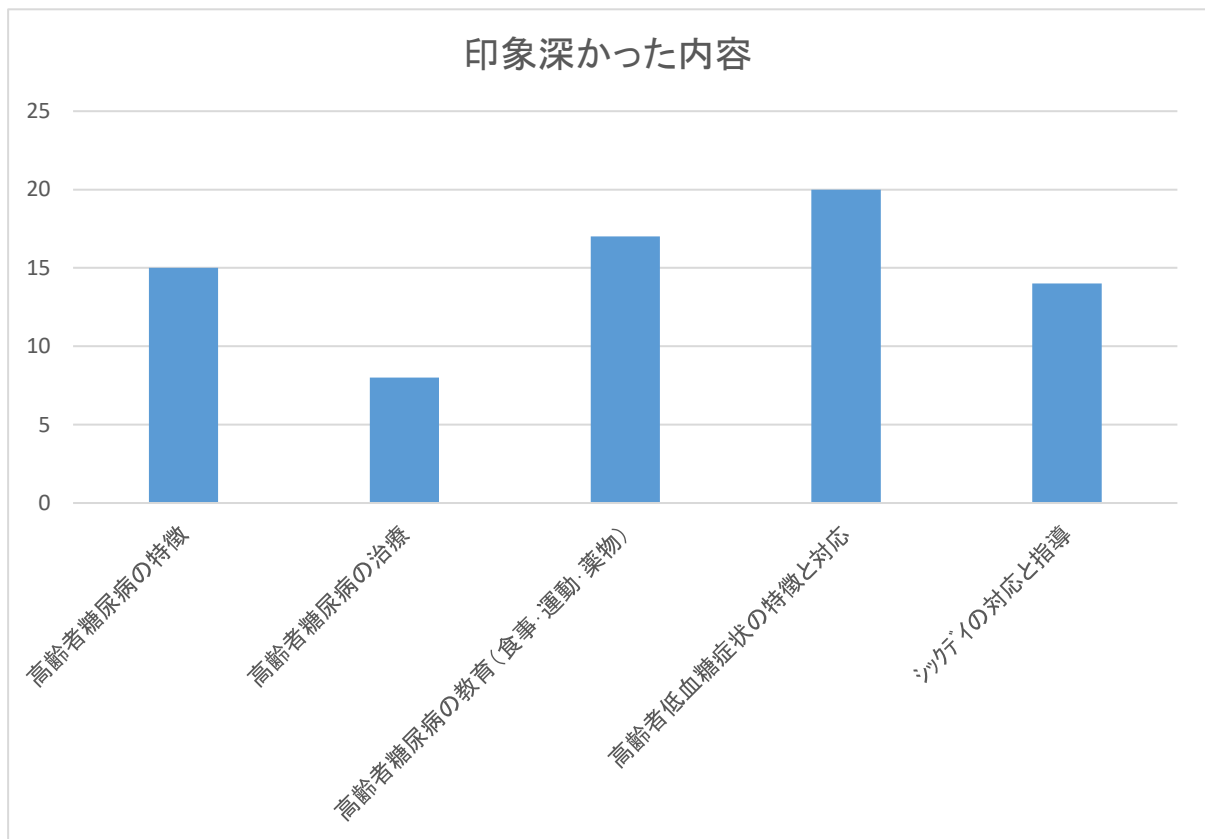
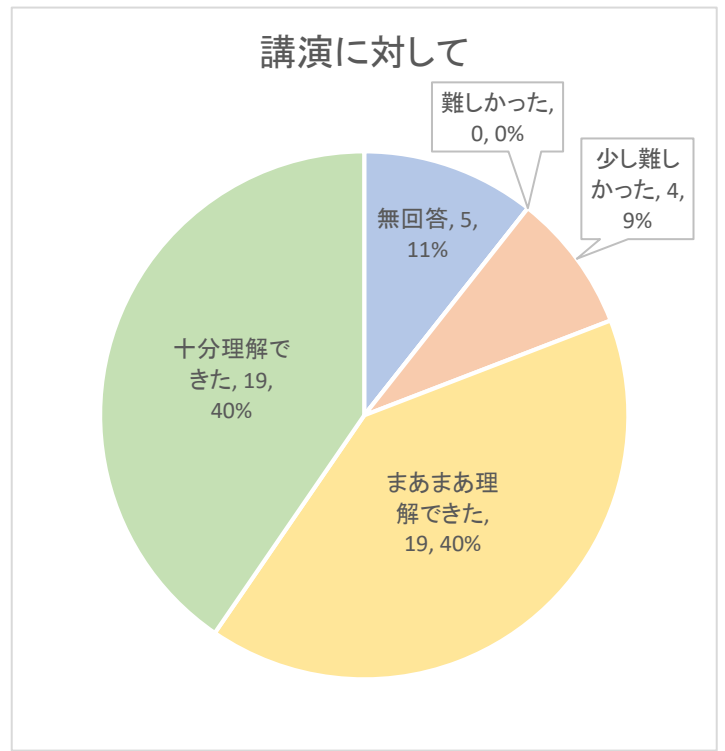
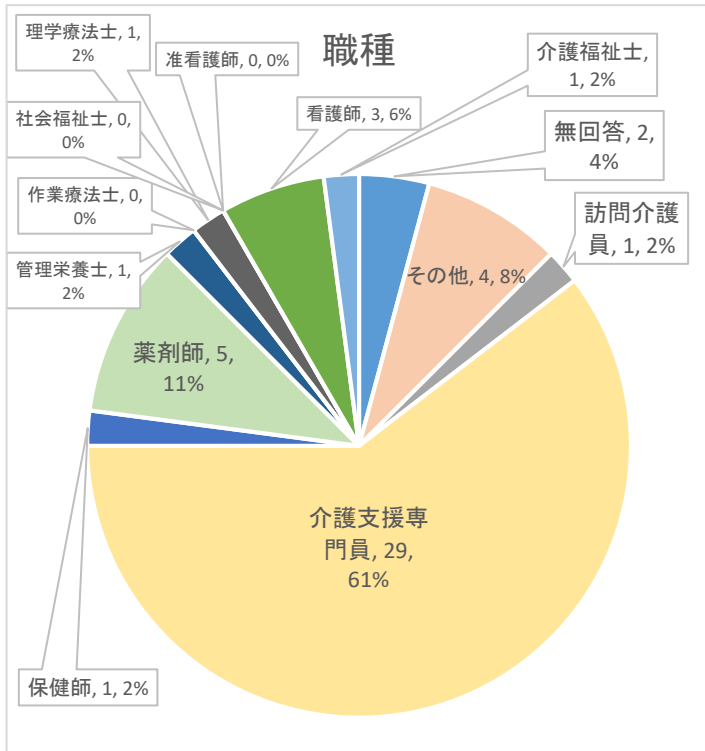


遠賀中間医師会在宅総合支援センター H30.8.28

参加人数53名 アンケート48名



「もっと詳しく知りたい項目や今後掘り下げて学びたい分野」

- ・病院内での事はわかりましたが、在宅に戻るとなかなかむずかしい。
- ・血糖値のコントロールが悪い患者さんの中でよくある生活習慣の問題点はこういったことが多いでしょうか（薬は用法用量どおり使用できて、甘い物は摂らないという）。
- ・高齢者糖尿病の方に対する運動療法、又は認知症を合併している方の運動療法、リハビリについて。
- ・デイサービスにNsとして勤務しています。DMの方のフットケアが報告されましたが、デイでは利用者様は入浴をされるので、入浴時の具体的なフットケアの方法や、爪を切る際の具体的な技術などを具体的に詳しく知りたい。爪の部分を押す傷は治療したが、抜爪したりする時の感染予防の為の日常的なケアなど実施例などを含め詳細な事を学びたい。
- ・今日はとても身近な糖尿病をテーマに面白くよくわかりました。ありがとうございました。在宅への訪問栄養指導の詳しい方法が知りたかった。
- ・糖尿病予備軍の方の事をもっと知っていきたいと思います。
- ・糖尿病患者（独居、高齢者）へ在宅管理。
- ・理解していない人に説明しないといけないので、今日のような研修の資料はわかった人だとわかると思うけど、わからない人は、もっとざっくりわかりやすい言葉で説明してほしい。ただ読んでいるだけだった。
- ・糖尿病チームの活動において低血糖対処指院内プロコールについて、もっと詳しく知りたかった。
- ・褥瘡についてのケアの方法。程度によってどんなケアが最適なのかなど。
- ・食事の内容、運動、薬の内容をもっと詳しく教えてほしい。
- ・献立やメニューについて買わないといけない食品等も含めて、一覧がほしい。

「今後の業務で活かせると思ったこと」

- ・糖尿病チームの活動内容。
- ・糖尿専門の看護師が在宅に関わってほしい（特に専門の訪問看護師が必要では？）
- ・甘い物への代用品や声かけの仕方。最後の質疑応答はすべて活かせると思った。
- ・食習慣の具体的な内容を聞き出すこと。
- ・フレイルの運動。
- ・高齢者の方の低血糖時の早期発見の方法。定形的ではないという低血糖時の症状の特徴について学べた。
- ・シクデイの際の対応の方法。
- ・相談する事のできる窓口が明確にわかったので、相談したいなと思った。
- ・食事療法について自宅でどうすれば良いか、説明の仕方。
- ・実際に糖尿病でかなり悪い状態の方もいらっしゃいます。少しでも予防できたらと思います。
- ・シクデイ時の対応方法などを検討した事がなかったので、今後は検討確認を行っていきたいと思います。
- ・高齢者糖尿病では高血糖症状が出にくい。低血糖時に非典型的な症状を呈することが多いなど臨症上の特徴や治療の目標と注意点、重症化予防は活かしていきたいと思います。
- ・糖尿病の利用者を病気の事の話ができる。
- ・糖尿病予防に関する提案。
- ・糖尿の方は、食事量が多いことがより確認できた。
- ・糖分摂取-ブドウ糖について。
- ・生活の習慣を詳細に聞くことが問題点がみつけやすいことがわかった。
- ・教育入院があるとは知りませんでした。生活習慣の改善が難しい人へすすめてみたいと思います。
- ・シクデイの具体的な内容。
- ・ぶどう糖に代替できるものが具体的に分かり役立った。

「今後の業務で活かせると思ったこと」

- ・高齢者に対する投薬のポイントが増えました。
- ・糖尿病患者の目標血糖値の表、認知機能と使用薬剤による目標値の表が今後どれくらいを目標としていくかの指標になりました。
- ・糖尿病患者に対する声かけのやり方。
- ・利用者様、入居者様の低血糖症状の見分けと対応。
- ・糖尿病の対応は本人が行えることからと言われていたので、プラン同様で話をすすめていこうと思います。
- ・高齢者夫婦のみではなく家族も交えての話し合いが必要。家族への積極的なアプローチを行いたい。
- ・食事療法、質問についての答え。
- ・質疑応答の内容で、本人家族への声かけや対応が勉強になりました。
- ・食事について、家族や本人への説明の仕方。
- ・ぶどう糖が薬局で200円で売っている。
- ・血糖に気を付けたい。

「要望・研修の希望」

- ・認知症について(対応など)。サービス(医療・介護ともに)の受け入れが悪い人への対応について、事例や各職種の関わりなどあれば知りたい。
- ・高齢者のDMIは、合併症の頻度が高く、フレイル、サルコペニア、ADL低下、認知機能低下、認知症などの老年症候群の合併頻度が高いので、そういう方の運動療法の具体的なプログラム、実施方法などの講義、実施方法などを知り、DM患者様の予防改善に努められる具体的な方法を学びたい。
- ・今までにどの様な相談があって、どう対応したのか活動及び事例を話して欲しい。今年はこれからどの様な研修を企画しているのか教えて欲しい。CM向けの研修会を開いてほしい(MSW,かかりつけ医とのグループワークをしたい)。
- ・糖尿病教室は、かかりつけがおんが病院じゃなくても参加できますか？おんが病院に眼科があったらよいと思う。
- ・また機会がありましたら参加したいと思います。ありがとうございます。
- ・認知症の早期発見、治療に関する医師会の取り組みを知りたい。
- ・もしよろしければなんですが、医師や看護師としての目線として、介護福祉士、社会福祉、介護支援専門員にはこういった事を期待しているといった事があれば、先生達の考えがもう少しわかっただらと思いました。
- ・疾患ごとの研修が役立ちます。
- ・いつも貴重な研修をありがとうございます。
- ・マイクを通しては、少し声が小さい。また早口でわかりにくい。漢字を並べる、カタカナが多い説明の方がいた。